

夢の実現へ——就職・資格へのこだわり

JABEE (日本技術者教育認定機構) 認定学科

- 国際的に活躍できる技術者の育成
- 卒業生全員が登録申請すれば国家資格の**技術士補(建設部門)**の資格が取得できます。

取得可能な資格

- 技術士補(国) ■測量士補(国) ■学芸員(国)(学芸員課程を履修) ■中学校教諭免許状[理科・数学・技術](国)(1種/教職課程を履修) ■高等学校教諭免許状[理科・数学・工業](国)(1種/教職課程を履修) ■その他の様々な資格(交通技術資格者(TOP)、基本情報技術者、土木施工管理技師、TOEICなど)の取得に向けたサポート

OB・OG・学科によるサポート

- インターンシップ:就業体験を行う前に「ビジネスマナー講座」を開講し、3年次担任、就職担当、学科事務が就職に向けてサポート
- 就職講演会:本学科卒業のOB・OGの協力のもと、業種・企業説明を実施
- 就職応援ミーティング:わだちの会(学科同窓会)による支援のもと、ブース形式で自分の希望する企業・業種の説明を実施
- OB・OG7000名が協力

キミの夢の実現へ——。拡大し続ける交通システムの世界。

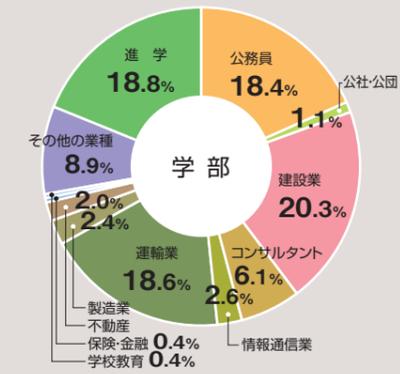


JABEE認定技術者教育プログラム

日本大学 理工学部 交通システム工学科

交通システム工学科を卒業した先輩たちは 全国の様々な分野で活躍しています ()内は人数

■平成22~26年度 就職情報【分野別就職先】



公務員は全国各地へ

都道府県庁へ311名

■公務員関連

- 東京都 (100)
- 千葉県 (51)
- 神奈川県 (23)
- 埼玉県 (22)
- 新潟県 (15)
- 静岡県 (13)
- 福島県 (9)
- 茨城県 (9)
- 群馬県 (8)
- 栃木県 (7)
- 長野県 (6)
- 山形県 (6)
- 秋田県 (4)
- 宮城県 (4)
- 岩手県 (4)
- 福岡県 (3)
- 山梨県 (3)
- 高知県 (3)
- 愛知県 (3)
- 青森県 (2)
- 和歌山県 (2)
- 徳島県 (2)
- 山口県 (2)
- 岡山県 (2)
- 香川県 (2)
- 北海道 (1)
- 奈良県 (1)
- 石川県 (1)
- 三重県 (1)
- 佐賀県 (1)
- 岐阜県 (1)

市町村175市

東京特別区63名

- 世田谷区 (9)
- 江戸川区 (9)
- 足立区 (7)
- 大田区 (5)
- 江東区 (5)
- 練馬区 (3)
- 目黒区 (3)
- 文京区 (3)
- 新宿区 (3)
- 荒川区 (3)
- 葛飾区 (3)
- 墨田区 (2)
- 北区 (2)
- 板橋区 (2)
- 中央区 (1)
- 杉並区 (1)
- 渋谷区 (1)
- 港区 (1)

国へ74名

- 国土交通省 (58)
- 経済産業省 (6)
- 東京労働局 (3)
- 会計検査院 (2)
- 海上自衛隊 (2)
- 農林水産省 (1)
- 防衛施設庁 (1)
- 地域振興整備公団 (1)

警察へ74名

- 警視庁 (34)
- 千葉県警 (7)
- 埼玉県警 (6)
- 静岡県警 (4)
- 神奈川県警 (3)
- 茨城県警 (2)
- 群馬県警 (2)
- 新潟県警 (2)
- 長野県警 (2)
- 愛媛県警 (1)
- 岡山県警 (1)
- 京都府警 (1)
- 熊本県警 (1)
- 広島県警 (1)
- 高知県警 (1)
- 山形県警 (1)
- 鳥取県警 (1)
- 島根県警 (1)
- 徳島県警 (1)
- 和歌山県警 (1)
- 福島県警 (1)

■鉄道・輸送関連企業

- JR東日本 (88)
- 東京地下鉄 (27)
- 東京都交通局 (16)
- JR東海 (13)
- JR西日本 (10)
- JR貨物 (5)
- JR九州 (2)
- 北陸鉄道 (1)
- 万葉線 (1)
- JR四国 (1)
- 遠州鉄道 (1)
- 小田急電鉄 (7)
- 京王電鉄 (6)
- 東京急行電鉄 (6)
- 横浜市交通局 (4)
- 京浜急行電鉄 (4)
- 西武鉄道 (3)
- 北総鉄道 (3)
- 新京成電鉄 (2)
- 千葉都市モノレール (2)
- 東葉高速鉄道 (2)
- 相模鉄道 (2)
- 埼玉高速鉄道 (2)
- 東京モノレール (1)
- 富士急行 (1)
- 横浜高速鉄道 (1)
- 舞浜リゾートライン (1)

■関東圏71名

- 京成電鉄 (9)
- 東武鉄道 (7)

■運輸・物流関連企業

- 日本通運 (37)
- センコー (26)
- 東芝物流 (23)
- 日立物流 (13)
- 三菱電機ロジスティクス (12)
- 東京空港交通 (7)
- 富士物流 (5)
- 山九 (5)
- 菱電運輸 (4)
- 西濃運輸 (4)
- 佐川急便 (4)
- リコーロジスティクス (4)
- キューソー流通システム (4)
- 全日本空輸 (4)
- ヤマト運輸 (4)
- 日新 (3)
- 川崎陸送 (3)
- NECロジスティクス (3)

〈他全85社250名〉

■道路・舗装関連企業

- NEXCO (30)
- 首都高速道路 (11)
- 鹿島道路 (25)
- 東亜道路工業 (23)
- 世紀東急工業 (22)
- 日本道路 (22)
- 大林道路 (18)
- 前田道路 (17)
- 日本舗道 (15)
- 飛鳥道路 (15)
- 福田道路 (10)
- 熊谷道路 (9)
- 大成ロテック (7)
- 竹中道路 (7)
- 三井道路 (6)
- 大成道路 (6)
- 日本舗道 (6)

〈他全63社293名〉

■建設コンサルタント関連企業

- ライテック (23)
- オリエンタルコンサルタンツ (18)
- セントラルコンサルタンツ (17)
- パシフィックコンサルタンツ (17)
- 国際航業 (14)
- 日本交通技術 (11)

■建設関連企業

- 飛鳥建設 (28)
- 鉄建建設 (28)
- 三井住友建設 (23)
- 鹿島建設 (19)
- 東急建設 (18)
- 前田建設工業 (18)
- 清水建設 (16)

※企業名は就職時の名で記載している場合があります。

【過去5年の卒業生および修了生の主な進路】

- 国土交通省、経済産業省、警視庁(交通技術)、東京都、千葉県、千葉県警(警察官)、埼玉県、埼玉県警(交通技術)、神奈川県、特別区、千葉市、船橋市、さいたま市、横浜市、川崎市
- JR東日本、JR東海、JR西日本、JR北海道、東京地下鉄、京成電鉄、日本通運、センコー、東芝ロジスティクス、リコーロジスティクス、ヤマト運輸、全日本空輸、NEXCO東日本、NEXCO中日本、日本道路、首都高速道路、鹿島道路、東亜道路工業、大林道路、ライテック、パシフィックコンサルタンツ、国際航業、NIPPO、大成建設、鹿島建設、三井住友建設、清水建設、前田建設工業 (順不同)

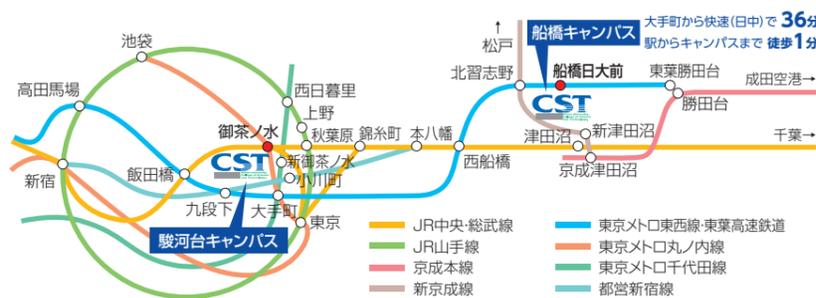
CST 日本大学理工学部 交通システム工学科

船橋キャンパス/〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1
交通事務室 ▼資料請求やお問い合わせはこちらへご連絡ください。

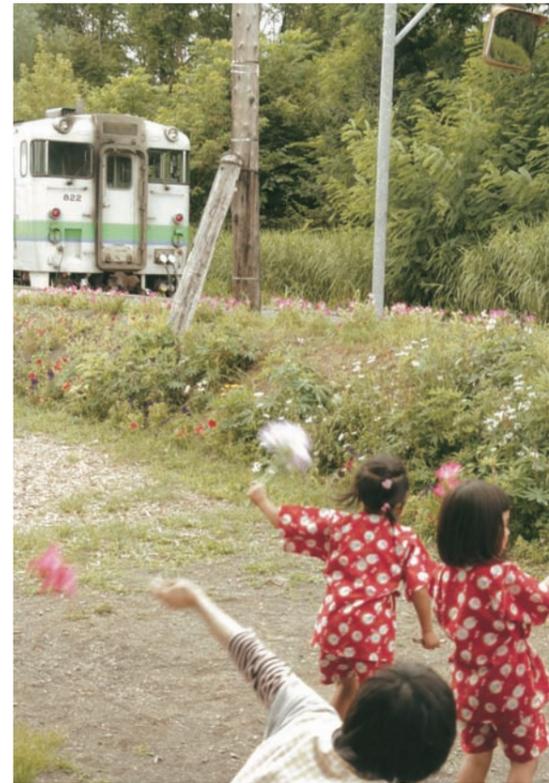
TEL. 047-469-5239
FAX. 047-469-2581

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/>

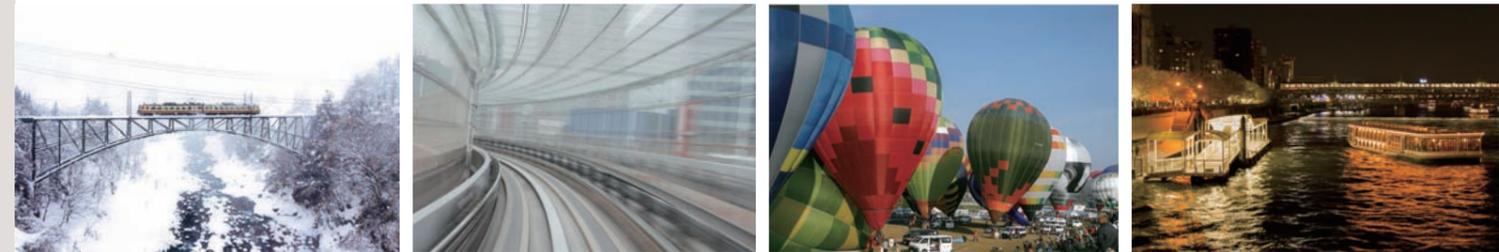
平成28年度入試情報は、理工学部ホームページ、理工学部作成の入試情報をご覧ください。



交通システム工学科 検索



日本で唯一のユニークな学科、交通システム工学科。
さまざまな角度からの「交通」をキーワードに、まちや暮らし、地球環境など幅広い分野での研究活動を行っています。
そして、高い専門性と広い視野、総合的な判断力を兼ね備えた、実践力のある人材を輩出しています。



<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/>

使用写真の一部は交通システム工学科写真コンテスト2014の入賞作品です。



2015

交通工学のパイオニアとして スマートな交通社会を創ろう

交通システム工学科は、「交通工学」のパイオニアとして1961年に誕生し、自動車交通、鉄道、航空、海運など、交通にかかわる幅広い総合技術を教育・研究する、わが国で唯一のユニークな学科です。近年では、とくに情報通信技術を活用した高度道路交通システム（ITS）などに代表される交通システムに対する理解と応用力の養成を通じて、高度な専門教育を行っています。

キミの未来を見つけよう！

NEXT

▶ P4~7

夢の実現へ

- 1 交通まちづくりや国土計画にとりくみたい
- 2 航空関係を目指したい
- 3 鉄道関係を目指したい
- 4 自動車関係を目指したい
- 5 物流関係を目指したい
- 6 情報通信技術で交通を科学したい
- 7 環境問題にとりくみたい
- 8 観光・景観・福祉交通にとりくみたい

1年

交通工学に関する基礎知識を学ぶ

教養科目のほか、交通社会の全体像と交通工学に関する広範で総合的な基礎知識を学びます。この中で、新しい気づきや発見が生まれます。



2年

2コースに分かれ基礎と応用を学ぶ

交通工学に関する基礎共通科目に加えて、エンジニアリングコースでは総合的な交通技術、マネジメントコースでは交通に関わる経営や国際感覚を身につけます。



3年

専門的知識と実践力を修得する

交通に関する、より専門的知識について学びます。交通調査・解析を実習で学ぶ「交通現象解析」や、交通をデザインする「景観設計」、専任教員による「ゼミナール」など、より専門的な知識や実践力を修得します。



4年

交通技術者として必要な実力を身につける

蓄積した専門知識・技術を活かし「卒業研究」を進めます。卒業研究では問題解決能力を身につけ、交通技術者として巣立ちます。

就職状況… 裏表紙



日本大学理工学部で唯一のJABEE認定学科です

JABEE (日本技術者教育認定機構)

本学科の卒業生はすべて「技術士第一次試験」が免除になり、登録申請すれば国家資格である技術士補(建設部門)の資格が取得できます。▶P13

世界で活躍する交通スペシャリストへ
学科独自の英語教育プログラム

英語教育 ▶P12

体験型教育プログラム

交通まちづくり工房 ▶P12

卒業研究… ▶P8

学会発表… ▶P12





1 交通まちづくりや 国土計画にとりくみたい



在学中

安心・安全・魅力的な交通まちづくり

道路・鉄道・空港・港湾などの交通インフラは、私たちの生活の基盤となる重要な施設です。社会・環境・経済等への影響を考慮した総合的かつ長期的な国土利用の観点からの交通計画から、安心・安全で魅力ある交通まちづくりに至るまで、幅広い構想、計画が必要です。

関連講義

- 交通総論 ●社会基盤計画学 ●都市計画Ⅰ、Ⅱ
- 交通システム計画 ●交通需要予測
- 交通現象解析Ⅰ、Ⅱ

卒業研究のテーマ例（交通まちづくり）

- 中央リニア新幹線整備による影響分析
- 新交通システムの導入効果に関する分析
- トランジットモール導入による商店街の地域活性化

卒業後

交通需要予測などの知識に基づき、国土計画や都市交通計画の立案、交通まちづくりのデザインなどの仕事に携わるのは大きなやりがいがあります！

卒業生の主な就職先

- 国土交通省 ●警視庁 ●公務員(土木職)都市計画課
- NEXCO ●首都高速道路(株) ●日本工営(株)
- パシフィックコンサルタンツ(株)…等



国土交通省

本科で学んだ知識をベースに、幅広い分野に取り組んでいます。

国土交通省道路局において道路政策全般の企画・調整を担当しています。慢性的な交通渋滞や悲惨な交通事故、繋がっていない高速道路など道路に対する課題について、本学科で学んだ交通計画、デザイン、応用力学、土質工学など幅広い知識をベースとして、政策議論を重ねています。

2 航空関係を目指したい



在学中

空の玄関

世界中の人やモノが行き来する国際空港は、グローバル化時代に欠かせません。便利で安全な航空機の運航を支える空港をつくるだけでなく、運用マネジメントや経営戦略、地域戦略も必要です。

関連講義

- 空港・港湾工学 ●交通事業論 ●交通システム計画
- 交通需要予測 ●プランナーのための会計学
- マーケティング・リサーチ ●国際開発援助論 ●交通経済学
- 国際コミュニケーション論 ●交通総論 ●舗装工学

卒業研究等のテーマ例（航空）

- 羽田や成田などの国際空港の実態分析
- 地方空港活性化に関する研究
- 水上飛行機の導入可能性の研究

卒業後

交通をマネジメントする技術、交通施設を建設して維持管理運用する技術や知識を学び、さらに空港建設や運用に関する技術や知識を学び、航空機運用エンジニアや空港エンジニアを目指そう！

卒業生の主な就職先

- 成田国際空港(株) ●国土交通省空港整備事務所
- JALシミュレータエンジニアリング(株)…等



成田国際空港株式会社

土木や舗装、多くの知識がさらに幅広い分野へ繋がる。

私は成田国際空港の整備、管理及び運営を行う会社に勤めています。空港は様々な交通手段の結節点であり、インフラからシステムまで幅広い分野を取り扱います。当学科において学んだ知識と幅広い人的ネットワークが非常に役に立っていますよ！

3 鉄道関係を目指したい



在学中

環境にやさしい鉄道

日本全国に張り巡らされた鉄道網は、他の交通機関と比較して、環境に負荷をかけず、大量の人間や荷物を運ぶことができます。その鉄道を安全に運行するための施設、システムは大変重要です。

関連講義

- 鉄道工学 ●交通システム工学特殊講義Ⅰ(鉄道施設の維持管理)
- 交通システム計画 ●社会基盤計画学
- オペレーションズ・リサーチ ●交通需要予測
- 交通事業論 ●交通総論 ●地盤力学 ●建設材料

卒業研究等のテーマ例（鉄道）

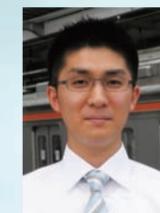
- 列車の混雑情報提供による利用者の行動分析
- 「駅ナカ」ビジネスの実態分析
- 駅構内における経路検索システムの構築

卒業後

鉄道工学、交通システム工学特殊講義Ⅰ(鉄道施設の維持管理)をはじめとする関連科目で学習して得た知識を生かし、安全かつ正確な鉄道網の整備、管理、運行に携わろう！

卒業生の主な就職先

- 東日本旅客鉄道(株)
- 東京地下鉄(株)
- 小田急電鉄(株)…等



東日本旅客鉄道株式会社

大切な地域の足だから、毎日の安全を支えたい。

私は東日本旅客鉄道株式会社(ポテンシャル採用)で働いています。研究室でのゼミナールや調査研究活動を通し、世界の交通事情、海外進出なども視野に入れながら勉強することができました。先生方による指導だけでなく、JR東日本のOBの方からのアドバイスを頂けられることも本学科の強みだと思います。

4 自動車関係を目指したい



在学中

安心・安全・快適な道路

道路では歩行者、二輪車、自動車など、多くの人や乗り物が同じ空間を利用しています。大学ではそれぞれが安心して快適に道路を利用できるように必要な知識と技術を身につけます。

関連講義

- 交通需要予測 ●交通制御 ●交通安全
- 交通生理・心理学 ●交通現象解析Ⅰ、Ⅱ
- 交通流理論 ●道路工学、道路工学演習
- 交通総論 ●舗装工学 ●地盤力学 ●建設材料

卒業研究等のテーマ例（自動車）

- 車両性能と道路構造に関する研究
- 交通事故削減のための総合的対策の検討
- 信号制御の高度化に関する研究

卒業後

自動車交通など道路に関連する企業には、毎年多くの卒業生が就職しています。公共性が高く、生活に密着した道路空間の計画や管理に携われる仕事には大きなやりがいがあります！

卒業生の主な就職先

- NEXCO東日本(株) ●NEXCO中日本(株)
- 首都高速道路(株) ●警視庁(交通技術職)
- 公務員(土木職)道路課、都市計画課…等



中日本高速道路株式会社

交通計画・交通環境・交通基盤の全ての分野において役立ちます。

私は工事事務所に所属し、新東名高速道路等において工事監督をしています。携わってきた仕事は、高速道路の事業計画、渋滞対策策定・保全業務・道路設計・環境調査と様々な分野に関係します。学んだことが、現場に結びつき、社会インフラの整備を通じて、地域社会の発展と暮らしの向上、活性化に貢献しています。



5 物流関係を目指したい



在学中

効率的な物流の実現

世界を行き来する貨物。頼んだその日に来る荷物。店舗に常に補充される商品。これらの実現にはモノの動きを効率的にさばく物流のノウハウが求められ、流通や都市交通計画の知識が必要になります。

関連講義

- ロジスティクス概論 ●交通現象解析Ⅰ・Ⅱ
- マーケティング・リサーチ ●オペレーションズ・リサーチ
- 社会基盤計画学 ●地域計画 ●都市計画Ⅰ
- 空港・港湾工学 ●測量学 ●交通総論

卒業研究等のテーマ例（物流）

- 災害時の救援物資の輸送に関する研究
- 「駅ナカ」や都心部の再開発ビルにおける物流実態分析
- 貨物輸送における鉄道モーダルシフト促進に向けた施策の検討

卒業後

ロジスティクス概論をはじめとする物流関連科目の知識、データを扱える数学系の知識、特殊な物流で必要になる測量学など工学系の知識を学んで、効率的な物流を実現するロジスティクスの担い手になろう！

卒業生の主な就職先

- 日本通運(株) ●(株)日立物流 ●東芝ロジスティクス
- センコー(株)…等

日常生活を支える物流の仕組みは、交通工学が担う大きなテーマです。

物流が世の中で広く求められている業種であることに魅力を感じ、この仕事に就きました。物量の分析、倉庫内のレイアウト設計、物流センター運営の構築、さらに作業改善の提案等の業務にも携わっています。仕事の中では、学科で学んだ統計やマネジメント関連の知識、CADによる製図の演習がとても役立っています。



株式会社日立物流

6 情報通信技術で交通を科学したい



在学中

スマートな交通システム

交通渋滞は世界各国の様々な都市において発生し、社会的に大きな無駄を生んでいます。この無駄を少なくするために、交通の現象を理論的・技術的に解析するための知識が必要となります。

関連講義

- 交通流理論 ●数理統計学 ●多変量解析
- 交通制御 ●交通需要予測 ●交通現象解析Ⅰ・Ⅱ
- オペレーションズ・リサーチ ●情報通信システム
- 交通総論

卒業研究等のテーマ例（交通科学）

- 交通ビッグデータを活用した渋滞予測
- 先進的なミクロ交通シミュレーションを活用した交通施策の評価
- ITS(高度道路交通システム)の施策に関する研究

卒業後

交通渋滞の理論や情報通信技術を中心とした最新の渋滞対策の知識、取得したデータから交通問題の解決策の考え方、立案する方法を学び、スマートな交通システムづくりができる交通技術者になろう！

卒業生の主な就職先

- 首都高速道路(株) ●NEXCO東日本(株) ●NEXCO中日本(株)
- 公務員(国、都道府県、区市町村、警察等)…等

交通ビッグデータなどを活用し、より効率的で安全な交通社会を実現したい。

私はミクロ交通シミュレーションソフトVISSIM(ビッシム)を活用した交通計画などのコンサルタンティング業務を行う会社を国内外で起業しました。現在は、ICT(情報通信技術)から得られるデータなどを活用し将来の歩行者やドライバーの挙動の分析や交通の流れをミクロ交通シミュレーションで再現し、交通プロジェクトの導入評価などを行っています。



株式会社PTVグループジャパン 代表取締役

7 環境問題にとりくみたい



在学中

環境に配慮した戦略的な交通システムの実現

今後はCO₂や汚染物質の排出が少なく、自然環境にも配慮した戦略的な交通システムの計画や設計、マネジメントが必須となります。

関連講義

- 環境工学 ●環境経済学 ●地球環境化学 ●河川流域工学
- 水環境学 ●建設材料 ●環境・技術者倫理
- 交通関連法規・行政 ●交通総論 ●舗装工学

卒業研究等のテーマ例（環境問題）

- 廃棄物を活用した地盤材料の開発や環境影響の分析
- 環境共生型交通インフラのデザインに関する研究
- 自動車からの地球温暖化ガス排出量の推計

卒業後

公害問題や地球環境問題の解決に向けて、環境に配慮した戦略的な交通システムの計画、設計、マネジメントのスペシャリストを目指そう！

卒業生の主な就職先

- (株)復建エンジニアリング ●(株)オオバ
- (株)東京久栄 ●(株)数理計画…等

環境との共生を目指した交通インフラの計画・整備を推進したい。

経済性・機能が優先されがちな社会資本整備ですが、環境との共生を目指した計画、立案を行っています。現地調査により環境の現状を把握した後、環境負荷を予測し、そのインパクトに応じた環境保全対策を検討しています。このような業務を通じ、人間活動と環境の両立に取り組むことが、私の仕事です。



株式会社復建エンジニアリング 環境計画グループ

8 観光・景観・福祉交通にとりくみたい



在学中

観光ユニバーサルデザイン

人口減少の始まったわが国においては、既存の交通施設を活かしつつ、より快適なまちを創造していくことが必要となっています。これは日常生活する「まち」、観光で訪れる「まち」のいずれにおいても重要なことです。

関連講義

- ユニバーサルデザイン ●観光まちづくり論
- 地域計画 ●景観工学 ●交通土木史 ●都市計画
- 交通関連法規・行政 ●交通総論

卒業研究等のテーマ例（観光、福祉）

- 外国人観光客の観光行動分析や交通施設のユニバーサルデザイン
- シーニックバイウェイ(日本風景街道)などの景観評価
- 高齢者向けデマンドバスの提案や子連れ世帯の交通支援策の提案

卒業後

その場の「資源」を活かしつつ、すべての人が快適で安全な生活を送るための生活基盤となる「まち」(エンジニア)や「しくみ」(マネジメント)をデザインする人材として活躍しよう！

卒業生の主な就職先

- 東京都 ●公務員(土木職)、都市計画課
- (株)三菱地所設計 ●UR都市機構 ●(株)JT B
- (株)エイチ・アイ・エス(H.I.S.)…等

技術者を目指し、もっと深く、もっと幅広く学びたい。

私は、父が交通工学の技術者だったこともあり、学生の頃から技術者になることを夢見ていました。現在は、新設道路や交通安全施設的设计業務を行っています。現場ではコミュニケーション能力や自ら考える能力が非常に重要で、学生時代のゼミナールや卒業研究での経験などが役立っています。



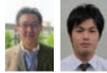
東京都

研究室紹介

本学科には特色ある9つの研究室があり、交通システムに関わる幅広い研究活動を行っています。3年次には「ゼミナール」で、4年次には「卒業研究」で研究室を選択します。

運輸交通計画研究室

- 轟 朝幸 教授
- 川崎智也 助教



「活力ある国土・地域づくりのため交通をマネジメントすること」を目的として、「陸」「海」「空」すべての交通機関を対象に、需要予測や様々なモデル分析を行っています。



▲インドネシア・スカルノハッタ空港でのバードストライク実態調査

道路交通研究室

- 安井一彦 准教授
- 池田隆博 助教



信号制御や交差点内での車両挙動等を分析し、交通渋滞等の問題を抑制する研究を行っています。産学官共同で、車両がない場合には、歩行者の青時間を表示し続ける「歩行者優先信号システム」を開発しました。



▲歩行者優先信号システム (歩行者が渡りきるまで車両側の信号も赤のまま)

交通システム研究室

- 福田 敦 教授
- 石坂哲宏 准教授
- マーライタム サティター 助手



交通問題解決のためのモデルやシステムの開発を行っています。例えば、ドライビング・シミュレーターを活用して、ITS(高度道路交通システム)等の評価を行います。



▲ドライビング・シミュレーター

交通環境研究室

- 藤井敬宏 教授
- 伊東英幸 准教授



公共交通や福祉交通、観光交通などの利便性向上に向けた改善策の検討や、環境に配慮した交通インフラ整備の計画や評価、ならびに交通環境の改善に向けた研究などを進めています。



▲交通バリアフリーの調査

空間情報研究室

- 佐田達典 教授
- 江守 央 助教



高精度GPS受信機を搭載した車両での走行実験により、車線上での走行軌跡をセンチメートル精度で取得して運転者の加減速の特徴やカーブの曲り方などの特性を分析しています。



▲高精度GPS受信機搭載車両

交通計画研究室

- 小早川悟 教授
- 稲垣具志 助教



「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として、駐車、物流、交通安全、バリアフリーといった様々な視点から研究を行っています。特に最近では、自転車交通に関する課題にも取り組んでいます。



▲車道を走行する自転車

道路マネジメント研究室

- 下川澄雄 教授
- 吉岡慶祐 助手



今ある道路をさらに効率的に活用するため、道路ネットワークのあり方やラウンドアバウトといった交差点の新たな運用方法などについて研究しています。



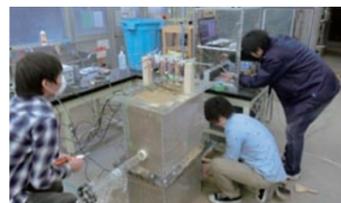
▲ラウンドアバウトによる交差点運用(飯田市)

基礎力学研究室

- 下辺 悟 教授
- 齊藤準平 助教



主に地盤環境工学・コンクリート工学に関する研究を行っています。例えば、下水道管の漏水による道路陥没のメカニズムを模型実験によって検証します。



▲道路陥没メカニズムの実験の様子

地盤工学研究室

- 峯岸邦夫 教授
- 山中光一 助教



自動車や列車などの交通荷重を受ける地盤の工学的性質、補強した土や軽量化した土を用いる新工法等について基礎的研究から応用開発まで幅広い研究を行っています。



▲道路の路盤を補強する新技術の開発 (ジオシンセティックス)

後輩たちへ
ひ・と・こ・と



出身校の先輩にオープンキャンパスに誘われたことがきっかけで、この学科に興味を持ちました。それまでは、女子が理工に行くことに少し抵抗がありましたが、先輩方が楽しく大学生活を過ごされている姿をみて羨ましく思いました。また、本学科は、幅広いことを学べ、卒業後も様々な分野で活躍できることを知り、入学を決めました。

実際に入学してみて、その通りの学科です。3年生の時、交通現象解析Ⅰなど皆とチームワークを深めながら毎日充実したキャンパスライフを過ごしました。

また、入学してわかったのが学科の雰囲気もすごくアットホームなことです。幅広い勉強をしながら楽しく学べるおすすめの学科です。

学部4年
天池 澄乃 さん



私が本学科に入学を決めたのは、道路施設の設計や運用といった専門知識はもちろん、それらに関わりのある地盤工学や情報システムといった幅広い分野を学べると考えたからです。実際に入学すると、4年間の授業科目が体系的に設置されており、無理なく知識を深めることができました。また、屋外で行われる講義も多く、2年次の測量実習では、班員と協力し合いながら授業に取り組み、皆と親交を深めることができました。大学生活の中で、自動車交通についてさらに研究をしたいと思い、大学院にも進学しました。



本学科の設置科目には、在学中や卒業後に資格が取得できる科目があり、大学での知識を生かした就職先を選択することができます。また、OBの方々を交えた就職セミナーが毎年行われており、交通への興味にかかわらず、将来の活躍の場を安心して見つけられる学科だと思います。

大学院(博士前期課程)2年
今村 一紀 さん



自分に合った分野を選べる 2つの専門科目コースとカリキュラム

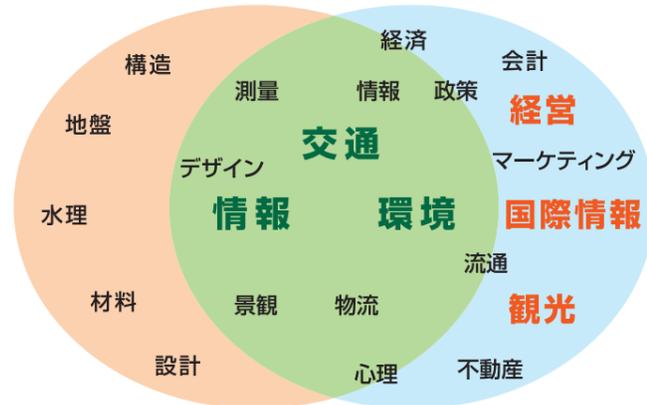
交通システム工学科では、学習・教育到達目標および各種の技術者資格取得にも対応できるよう、エンジニアリングコースとマネジメントコースを設定しています。「交通」「環境」「情報」をコアとして、2つの分野を取り入れたカリキュラムを設計し、科目を配置しています。

●エンジニアリングコース

「交通現象解析」などのコース共通科目に加えて、「舗装材料実験」、「構造設計」などの独自科目を設置。

●マネジメントコース

交通インフラの経営分野の知識を学ぶための「プランナーのための会計学」、「マーケティング・リサーチ」「交通事業論」を設置。



1年次に交通システム工学の全体像をしっかりと学び、2年次からはコースに分かれてそれぞれの専門科目を修得します。

【エンジニアリングコース】

学年	1年	2年	3年	4年
教授科目	選択 10単位以上修得すること。			
外国語科目	必修 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			
保健体育科目	必修 スポーツⅠ			
基礎教育科目	必修 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 数学演習Ⅰ	必修 数学演習Ⅱ 物理学Ⅰ 物理学Ⅰ演習		
専門科目	必修 基礎力学Ⅰ 数理統計学	必修 基礎力学Ⅱ		
必修	交通システム工学インセンティブ 交通システム工学スタディスキルズ 製図-デザイン基礎Ⅰ 製図-デザイン基礎Ⅱ 交通総論 交通流理論 環境工学 景観工学	測量学 測量実習 構造力学Ⅰ 構造力学演習 水理学 建材材料Ⅰ オペレーションズリサーチ 社会基盤計画学 都市計画Ⅰ 交通システム計画	交通システム工学総合演習 交通現象解析Ⅰ 地盤力学Ⅰ 環境・技術者倫理 ゼミナール	卒業研究
専門教育科目	交通計画系群 社会環境系群 社会基盤系群 海外研修	システム工学 交通制御 情報通信システム 空間情報工学 都市デザイン 水環境学 ユニバーサルデザイン	交通需要予測 ロジスティクス概論 交通安全 交通生理・心理学 環境経済学 景観設計 河川流域工学 都市計画Ⅱ	交通経済学 交通現象解析Ⅱ 空港・港湾工学 交通事業論 地域計画 交通土木史 構造設計 橋梁工学 舗装工学 鉄道工学
共通		交通関連法規-行政 情報処理 ※建設材料実験 ※地盤材料実験 ※舗装材料実験	プロジェクトマネジメント インターンシップ 交通システム工学特講義Ⅰ 交通システム工学特講義Ⅱ	

※ 建設材料実験、地盤材料実験、舗装材料実験から4単位以上修得すること。

【マネジメントコース】

学年	1年	2年	3年	4年
教授科目	選択 10単位以上修得すること。			
外国語科目	必修 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			
保健体育科目	必修 スポーツⅠ			
基礎教育科目	必修 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ	必修 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ		
専門科目	必修 基礎力学Ⅰ 数理統計学	必修 基礎力学Ⅱ 国際コミュニケーション論		
必修	交通システム工学インセンティブ 交通システム工学スタディスキルズ 製図-デザイン基礎Ⅰ 製図-デザイン基礎Ⅱ 交通総論 交通流理論 環境工学 景観工学	測量学 測量実習 オペレーションズリサーチ 社会基盤計画学 都市計画Ⅰ 交通システム計画 プランナーのための会計学 観光まちづくり論	交通システム工学総合演習 交通現象解析Ⅰ 環境・技術者倫理 景観設計 社会調査論 都市計画Ⅰ インターンシップ ゼミナール	卒業研究
専門教育科目	交通計画系群 社会環境系群 社会基盤系群 海外研修	システム工学 交通制御 情報通信システム 空間情報工学 水理学 水環境学 ユニバーサルデザイン	交通需要予測 ロジスティクス概論 交通安全 交通生理・心理学 環境経済学 河川流域工学 都市計画Ⅱ	交通経済学 交通現象解析Ⅱ 空港・港湾工学 交通事業論 地域計画 交通土木史 橋梁工学 舗装工学
共通		交通関連法規-行政 情報処理 マーケティングリサーチ	プロジェクトマネジメント インターンシップ 交通システム工学特講義Ⅰ 交通システム工学特講義Ⅱ	

交通流理論 1年次



自動車交通流に関して、渋滞の発生メカニズム、道路の交通容量、交通現象とその表現方法(速度-密度-交通量の関係)、交通事故、TDM、ITSなどの基礎的な知識を習得し、実際に対応できる交通技術者としての能力を養います。

【関連講義】 交通制御、交通需要予測、道路工学など

交通制御 2年次



▲交通管制センターの様子

交通制御に関して、信号機の表示企画から最新のITS交通管理システムまで学べます。信号機の現示計画などから、道路標識、路面標示などの交通を安全に運用する方法、高度な交通管理の仕組みについて学習します。

【関連講義】 交通流理論、交通需要予測、道路工学など

情報通信システム 2年次



道路、車両、人を情報通信システムで結ぶことによって、高度な道路交通社会を実現することができます。本科目では情報通信に関する基礎知識を習得します。

【関連講義】 情報処理、空間情報工学

環境工学 1年次



▲自動車のスピードを自然に落とさせる仕組み

地球規模から身近な地域に至るまでの環境問題を工学的に取り扱うための基礎的な知識、方法を習得します。

【関連講義】 水環境学、環境経済学、環境・技術者倫理

ユニバーサルデザイン 2年次



▲バリアフリー調査の例

「交通空間のユニバーサルデザイン」と「福祉のまちづくり」さらに「観光ユニバーサルデザイン」の3つの視点から学びます。

【関連講義】 都市計画Ⅰ、都市計画Ⅱ、景観設計

交通システム計画 2年次



▲タイのBRT

具体的な交通計画のプロジェクトを例に講義や現地見学を行います。この他に担当教員とともに千葉モノレール見学会を実施します。

【関連講義】 交通需要予測など

交通現象解析Ⅰ 3,4年次



交通調査方法論を学習し、調査の実施方法を考え、実際に調査を行う中で問題を解決する能力を習得します。また各種の現地調査によって収集したデータをもとにして交通現象を捉える能力を習得します。

【関連講義】 交通現象解析Ⅱ、交通流理論など

交通安全 3,4年次



▲交通安全教育の様子

わが国および諸外国における交通事故と交通安全対策の現状を理解するとともに、交通安全対策を推進する上で必要となる様々なアプローチを習得します。

【関連講義】 交通生理・心理学

建設材料Ⅰ 2年次



▲環境に配慮した護岸の例

環境への影響を最小限にして、強くても長期的に安定した環境に優しい材料の研究開発をしています。

【関連講義】 建設材料Ⅱ、舗装材料実験

ロジスティクス概論 3,4年次



▲早く正確に荷物を配送するシステム

戦略的に物を運ぶロジスティクスの概念を学習し、環境にやさしく効率的で、日常生活が便利になるような物流システムを構築するための知識を学びます。

【関連講義】 オペレーションズ・リサーチ

交通事業論 3,4年次



交通事業の経営・運営などに関する理論と、航空やバス事業などのあらゆる現場で活躍されている講師による講義も交えながら、事業現場の実際や課題について学びます。

【関連講義】 プランナーのための会計学、マーケティング・リサーチ、社会調査論

地盤力学Ⅰ 3,4年次



▲補強材を敷設して建設中の高速道路

地震に強い街をつくるため、ジオシンセティックスという新材料で地盤を補強する技術を研究開発しています。

【関連講義】 地盤力学Ⅰ、地盤材料実験

学修へのこだわり

交通まちづくり工房

実社会の要求に応えられる自立力と創造力を養うことを目指し、交通問題の「気づき」と「実践」による4つの社会還元型の学生プロジェクトが進められています。



▲スマートモビリティプロジェクト



▲交通安全プロジェクト



▲国際まちづくりプロジェクト



▲地域活性化プロジェクト

学会での発表・交流

国内外の学会において学生が積極的に論文発表を行うとともに、様々な大学の学生との交流を活発に行っています。



▲海外での論文発表



▲国際学会での学生の受賞

交通システム工学科の卒業生はすべて「技術士第一次試験」が免除になり、登録申請すれば技術士補(建設部門)の資格が取得できます。

日本大学理工学部で 唯一のJABEE認定学科です

(日本技術者教育認定機構)



交通システム工学科(旧:社会交通工学科)の教育プログラムは、一定の水準を満たしていると評価され、平成18年度にJABEEの認定を受け、平成23年度、26年度に継続認定を受けました。

技術士は、科学技術のエキスパート。科学技術に関して高度な応用能力を備えていると認定された国家資格です。

プロジェクトの計画や管理、調査、分析、設計など専門的な仕事に中心的な立場から携わることができ、コンサルタントとしても活躍できます。

技術士として認定されるためには、まず第一次試験に合格し、技術士補に登録申請できる修習技術者となる必要があります。

JABEEに認定された教育プログラムを修了した交通システム工学科の卒業生は、この第一次試験が免除され、登録申請することで技術士補(建設部門)の資格が取得できます。

JABEE(ジャビー)とは?

日本技術者教育認定機構(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education)は、技術者教育プログラムの審査・認定を行う団体です。高等教育機関で実施されている技術者教育が、社会の要求水準を満たしているかどうかを公平に評価し、認定を行っています。



国際化へのこだわり

世界で活躍する交通スペシャリストへ

グローバル社会に対応できる人材を育成するために、学科独自の英語教育プログラムなど実践的なコミュニケーションの機会が豊富に用意されています。



学術交流

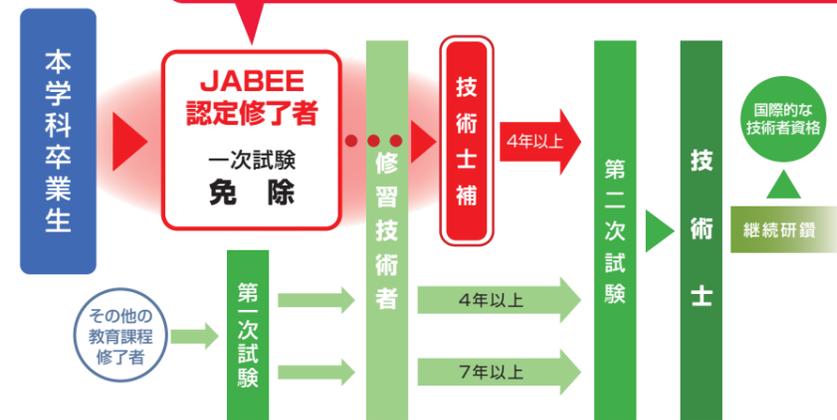
- カリフォルニア大学(米国)
- 京畿大学(韓国)
- 交通技術大学(ベトナム)
- 交通通信大学(ベトナム)
- チュラロンコン大学(タイ)
- デラ・サール大学(フィリピン)
- ウィーン工科大学(オーストリア)

海外研修旅行



■過去の訪問先/アメリカ/韓国/台湾/北欧/ドイツ/イタリア/フランス/イギリス

登録申請することで技術士補(建設部門)の資格が取得できるため、就職に大変有利です!



技術士・技術士補

科学技術に関する分野において第三者(企業、国)から依頼されて計画、研究、設計、分析、試験、評価、またはこれらに関する指導する立場として、業務に従事できる技術者として認定される国家資格です。

■受験資格

第一次試験: 特になし。
第二次試験: 受験する技術部門によって該当要件(業務経歴)があります。また、第一次試験の合格者であることが条件となります。

サブメジャーの導入

サブメジャー(副専攻)の制度とは、体系づけられた科目群からなるサブメジャーコースを履修し、交通システム工学科の学位とは別に特定分野の学習成果を理工学部として認定する制度です。他学科の設置講義も横断的に修得することで認定されます。

■景観サブメジャー

設置学科:交通システム工学科、海洋建築工学科、まちづくり工学科
今後、交通まちづくりや土木・建築デザインにおいて、景観形成は必要不可欠な存在となっており、「景観サブメジャー」では景観形成に関する基本要件や技術的ポイントを学習します。

■ITS(インテリジェント交通システム)サブメジャー

設置学科:交通システム工学科、機械工学科、精密機械工学科、電子工学科、応用情報工学科
ITS(インテリジェント交通システム)サブメジャーでは、情報通信技術を活用して高度な道路交通システムを構築・運用する上で、必要な基礎的知識を修得します。

★ JABEE認定プログラムの勧め

JABEE認定プログラムの本学科卒業生は技術士補を申請することができ、最短4年で技術士試験(2次試験)に挑戦することができるようになります。認定されていないプログラムの卒業生は1次試験を合格しなければ、2次試験にチャレンジできないので、大学を選ぶ際はJABEE認定があるプログラムをお勧めします。

JABEE認定プログラム初年度卒業生(2007年卒業)
社会システム株式会社 金子 翔一さん



【学科主任】
佐田 達典 教授、博士(工学)
 (専門) 空間情報工学、測量

- GPS ●GLONASS ●準天頂衛星 ●レーザースキャナ
- ICタグ ●距離画像センサ ●モバイルマッピング

1962年(昭和37年)生。島根県浜田市出身
 島根県立浜田高校—東京大学工学部土木工学科—同大学院工学系研究科修士課程土木工学専攻、三井建設株式会社東京土木支店、三井建設株式会社技術研究所室長、三井住友建設株式会社技術研究所グループリーダー、2007年より日本大学工学部教授、現在に至る。

小早川 悟 教授、博士(工学)
 (専門) 地区交通計画、物流

- 都市交通管理 ●自転車専用道 ●駐車計画 ●交通マネジメント
- ロジスティクス(物流計画)

1969年(昭和44年)生。神奈川県小田原市出身
 日本大学三島高校—日本大学理工学部交通土木工学科—米国ジョージワシントン大学大学院交通経営工学専攻、日本大学理工学部助手、同専任講師、英国リーズ大学交通研究所客員研究員、日本大学理工学部准教授を経て、2012年より日本大学理工学部教授、現在に至る。

下川 澄雄 教授、博士(工学)、技術士(建設)
 (専門) 道路工学、交通工学

- 道路ネットワーク ●道路空間 ●サービス水準 ●機能分類
- 幾何構造 ●SA・PA、道の駅 ●防災・減災

1959年(昭和34年)生。長野県長野市出身
 長野県立長野高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院理工学研究科交通土木工学専攻、(財)国土開発技術センター(現、(一財)国土技術研究センター)調査第二部、静岡県道路建設課主査、(財)国土技術研究センターITS企画推進室次長、技術調査政策グループ首席研究員、道路政策グループ首席研究員、2012年より日本大学理工学部教授、現在に至る。

下辺 悟 教授、工学博士
 (専門) 土質力学、地盤環境工学、地盤工学

- 地盤防災・減災 ●地盤環境・汚染 ●道路陥没 ●液状化
- 多孔質体の有効利活用 ●環境緑化

1951年(昭和26年)生。山形県山形市出身
 日本大学山形高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院理工学研究科修士課程土木工学専攻—同大学院理工学研究科博士課程土木工学専攻、日本大学理工学部助手、日本大学短期大学部助手、同専任講師、同助教、日本大学理工学部助教、准教授、2010年より日本大学理工学部教授、現在に至る。

轟 朝幸 教授、博士(工学)
 (専門) 交通計画、地域計画

- 航空ネットワーク ●空港整備・運用 ●ITS ●交通ビッグデータ
- 観光交通 ●公共交通(鉄道、バス、LRT)

1964年(昭和39年)生。長野県長野市出身
 長野県立長野高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院博士前期課程理工学研究科交通土木工学専攻—同大学院博士後期課程理工学研究科交通土木工学専攻、日本大学理工学部助手、東工学部助手、同講師、高知工科大学工学部助教、日本大学理工学部助教、同准教授を経て、2008年より日本大学理工学部教授、現在に至る。

福田 敦 教授、工学博士
 (専門) 交通計画、交通システム分析、国際開発工学

- 低炭素交通システムの構築 ●交通分野でのCO2削減
- 地下鉄・BRTの環境改善効果の評価
- ミクロ交通シミュレーションによるITSの評価

1959年(昭和34年)生。東京都八王子市出身
 東京都立国立高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院理工学研究科博士前期課程社会交通工学専攻—同大学院理工学研究科博士後期課程社会交通工学専攻、日本大学理工学部助手を経て、2005年より日本大学理工学部教授、現在に至る。

藤井 敬宏 教授、博士(工学)
 (専門) 道路交通工学

- 道路計画 ●モーダルシフト ●交通アセスメント ●TDM
- バリアフリー ●ノーマライゼーション ●ユニバーサルデザイン

1957年(昭和32年)生。北海道滝川市出身
 北海道立滝川高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院理工学研究科交通土木工学専攻、日本大学理工学部助手、同専任講師、(財)国土開発技術研究センター(派遣)、日本大学理工学部助教を経て、2006年より日本大学理工学部教授、現在に至る。

峯岸 邦夫 教授、博士(工学)
 (専門) 交通地盤工学

- 交通施設 ●道路 ●鉄道 ●空港 ●人工地盤材料
- ジオシンセティックス ●ジオフォーム ●地盤の軽量化
- 地盤の補強 ●リサイクル

1964年(昭和39年)生。東京都荒川区出身
 日本大学豊山高校—日本大学短期大学部—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院理工学研究科交通土木工学専攻、日本大学理工学部助手、同専任講師、同准教授を経て、2014年より日本大学理工学部教授、現在に至る。

石坂 哲宏 准教授、博士(工学)
 (専門) 交通工学、情報工学

- プローブ情報システム ●自動車燃料消費
- ミクロ交通シミュレーション ●二輪車シミュレーションモデル

1978年(昭和53年)生。東京都昭島市出身
 日本大学鶴ヶ丘高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院博士前期課程理工学研究科社会交通工学専攻—同大学院博士後期課程理工学研究科社会交通工学専攻、日本大学理工学部助手、同助教、カリフォルニア大学リバーサイド校環境技術研究センター客員研究員を経て、2015年より日本大学理工学部准教授、現在に至る。

伊東 英幸 准教授、博士(工学)
 (専門) 交通環境計画、環境評価

- トランスポーテーションエコロジー ●戦略的環境アセスメント
- 環境経済評価 ●ライフサイクルアセスメント

1978年(昭和53年)生。東京都江戸川区出身
 日本大学理志野高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院理工学研究科博士前期課程交通土木工学専攻—同大学院理工学研究科博士後期課程社会交通工学専攻、日本大学理工学部助手、名古屋大学エコピア科学研究所附属アジア資源循環研究センター研究機関研究員、同研究所特任助教(兼職:岐阜大学地域科学部非常勤講師)、日本大学理工学部助教を経て、2015年より日本大学理工学部准教授、現在に至る。

安井 一彦 准教授、博士(工学)
 (専門) 交通工学、交通制御

- ITS ●VICS ●ETC ●UTMS ●TDM
- 高度交通管制システム ●交通情報システム
- 交通信号制御

1959年(昭和34年)生。新潟県長岡市出身
 新潟県立長岡高校—日本大学理工学部交通土木工学科、日本大学理工学部助手、同専任講師、2007年より日本大学理工学部准教授、現在に至る。

池田 隆博 助教、博士(工学)
 (専門) 空間情報工学

- 衛星測量 ●3Dレーザースキャナ ●モバイルマッピング
- 高精度ナビゲーション ●自動走行

1986年(昭和61年)生。富山県高岡市出身
 高岡第一高校—日本大学理工学部社会交通土木工学科—同大学院理工学研究科博士前期課程社会交通工学専攻—同大学院理工学研究科博士後期課程社会交通工学専攻、日本大学理工学部助手を経て、2015年より日本大学理工学部助教、現在に至る。

稲垣 具志 助教、博士(工学)
 (専門) 交通安全、交通計画

- 交通安全対策 ●生活道路 ●移動制約者支援 ●交通安全教育
- 自転車 ●二輪車 ●地域公共交通 ●市民参加 ●都市交通計画

1977年(昭和52年)生。兵庫県神戸市出身
 大阪教育大学教育学部附属高等学校池田校舎—大阪府立大学工学部電子物理工学科—大阪府立大学大学院工学研究科都市系専攻前期博士課程—同大学院工学研究科都市系専攻後期博士課程、公益財団法人豊田都市交通研究所研究員、成蹊大学理工学部助教を経て、2014年より日本大学理工学部助教、現在に至る。

江守 央 助教、博士(工学)
 (専門) 福祉交通、ユニバーサルデザイン

- 交通バリアフリー ●福祉のまちづくり ●歩行者 ●障がい者
- 地域活性化 ●市民参加 ●合意形成 ●都市デザイン

1973年(昭和48年)生。千葉県佐倉市出身
 千葉県立八千代高校—日本大学理工学部交通土木工学科、日本大学理工学部副手、同助手、2012年より日本大学理工学部助教、現在に至る。

川崎 智也 助教、博士(工学)
 (専門) 交通計画、物流

- ロジスティクス ●海運政策 ●港湾計画 ●国際物流
- 交通行動分析 ●モーダルシフト ●途上国

1984年(昭和59年)生。東京都江東区出身
 日本大学鶴ヶ丘高校—日本大学理工学部土木工学科—アジア工科大学院工学技術研究科交通工学専攻博士前期課程—東京工業大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻博士後期課程、(公財)日本海事センター研究員を経て、2013年より日本大学理工学部助教、現在に至る。

齊藤 準平 助教、博士(工学)
 (専門) コンクリート工学

- コンクリート構造物の劣化診断
- 道路橋・鉄道橋の維持管理

1975年(昭和50年)生。静岡県沼津市出身
 日本大学三島高校—日本大学理工学部交通土木工学科—同大学院理工学研究科博士前期課程交通土木工学専攻、中外テクス株式会社、日本大学理工学部助手を経て、2013年より日本大学理工学部助教、現在に至る。

山中 光一 助教、博士(工学)
 (専門) 交通地盤工学

- 混合地盤材料 ●軽量土 ●廃棄物 ●舗装の構造設計
- 理論的設計方法 ●設計定数

1985年(昭和60年)生。千葉県野田市出身
 西武台千葉高等学校—日本大学理工学部社会交通土木工学科—同大学院理工学研究科博士前期課程社会交通工学専攻—株式会社不動テトラ—銀埋不動産株式会社—日本大学大学院理工学研究科研究生—同大学院理工学研究科博士後期課程社会交通工学専攻、日本大学理工学部助手を経て、2015年より日本大学理工学部助教、現在に至る。

マーライタム サティター 助手、博士(工学)
 (専門) 都市計画、交通計画

- 土地利用変化予測 ●経済評価 ●立地選択行動
- 地理情報システム ●交通行動分析 ●ミクロ交通シミュレーション

1985年(昭和60年)生。タイ王国チェンマイ県出身
 Nawamintrachinuthit Bodindecha 高等学校—Kasetsart大学工学部土木工学科—同大学院工学研究科博士前期課程土木工学専攻—京都大学大学院工学研究科博士後期課程都市社会工学専攻、2015年より日本大学理工学部助手、現在に至る。

吉岡 慶祐 助手、修士(工学)、技術士(建設部門)
 (専門) 交通工学

- 道路構造 ●交通事故 ●交通渋滞 ●交通シミュレーション
- サービス水準 ●交通容量

1985年(昭和60年)生。滋賀県愛知郡出身
 滋賀県立彦根東高校—名古屋大学工学部社会環境工学科—同大学院工学研究科博士前期課程社会基盤工学専攻、株式会社長大道路事業本部、2015年より日本大学理工学部助手、現在に至る。

【特任・客員教授】
 特任教授
岩井 茂雄
 (専門) 環境工学、舗装工学

- 環境アセスメント ●水浄化 ●地下水・土壌汚濁 ●地盤環境
- 騒音・振動 ●透水(排水)性舗装 ●PMS

客員教授
森杉 壽芳
 (専門) 交通、国土計画

- 費用便益分析 ●地球環境政策 ●交通政策 ●土木計画学
- 公共事業評価 ●社会資本論

客員教授
森田 緯之
 (専門) 交通工学、道路計画

- 高速道路 ●交通事故 ●交通情報システム ●ITS ●ETC
- TDM ●ロードプライシング ●交通アセスメント

特色ある研究施設

■交通総合試験路(理工学部理工学研究所)

全長618mの交通総合試験路は世界的に見てもユニークな施設で日本唯一です。交通総合試験路を活用して自動車の走行試験など最先端の研究活動を行っています。左の写真は、走行しながら道路地図を作製できる高機能車両の走行試験を外部企業と共同で行ったものです。

■プラグイン・ハイブリット—プリウス

交通調査や走行実験などの研究活動、様々な講義・実験などを支える自動車として、3台の車両を所有しています。一台はプラグイン・ハイブリット車両で、環境に配慮した走行実験を実施できるようにするだけでなく、エコドライブなどの自動車環境技術に関する研究を進めています。

■パーソナル・トランスポーター—セグウェイ

本学科で所有する6台のセグウェイを活用し、船橋キャンパスを交通のある街と捉えて、将来の新しい交通手段としての可能性を実証的に検討しています。実際にキャンパスでセグウェイを乗り、学生自らが気づいたことを実践していく交通まちづくり工房の活動を支える重要なツールです。

■ドライビング・シミュレーター

本学科は四輪実車型ドライビング・シミュレーターおよび二輪用のバイクシミュレーターを所有しています。これらのシミュレーターでは、様々な環境条件下における走行を再現することが可能であり、交通安全やITS、エコドライブなどの研究に活用しています。